

普段はどんな仕事をされていますか？

……主に3つの部門で仕事をしています。療育診療部門では就学前のお子さんを対象に「言葉がゆっくり」「うまく発音ができない」「よくわかっていない」「集団行動が難しい」「偏食や摂食嚥下」等の困り感に寄り添って、検査や評価、指導、助言等をしています。重症心身障害者の通所部門では、コミュニケーションや摂食嚥下の評価、指導をしています。発達支援部門では地域の保育園や幼稚園に出向いてお子さんの様子を観察し、先生方と情報を共有してより良い環境設定について一緒に考えることもあります。

●今の仕事を選んだきっかけはなんですか？

……中高生の頃の夏休みにボランティアをした時、保育園では自然に受け入れられて楽しい時間を共有できましたが、療育センターではお子さんとの関わりに壁を感じる事が多くあり悩みました。コミュニケーションの難しさや大切さを痛感し、もっとうまくコミュニケーションを取れるようになりたいと思いました。また、様々な困難を抱えているお子さんの一生懸命な姿に力をもらい、私も何か力になりたいと考えている時に、

profile

鹿島典子(かしま のりこ)
1989年生まれ
東京都出身
2012年3月 北里大学医療衛生学部
リハビリテーション学科
言語聴覚療法専攻 卒業
2012年4月 社会福祉法人日本心身障害児
協会 島田療育センターはち
おうじ 入職
休日の過ごし方 娘たちとパンやクッキー作り



リハビリの仕事でコミュニケーションを診る仕事があると知って迷いなく進みました。大学在学中も病院の小児病棟でボランティアや児童デイサービスでアルバイトをしました。お子さんたちの力になりたい一心で資格を取り、現在の法人に就職しました。

●この仕事の醍醐味は何だと思いますか？

……たくさんありますが、お子さんの笑顔を見られることや、ご家族と一緒にお子さんの成長を喜べることです。STとの取り

いきいきスタッフ

社会福祉法人日本心身障害児協会
島田療育センターはちおうじ 言語聴覚士
かしま のりこ
鹿島典子さん



組みから「前は難しかったのにできた!」「こんなことがわかるんだ」とご家族にも成長を感じてもらえると、私もうれしくなります。毎日新しい発見があり、日々勉強しています。また当センターは職種間の距離も近く、経験豊富な先輩方もたくさんいるので困った時にはすぐ相談でき、より良い指導や支援について様々な意見を取り入れながら考えることができます。

●仕事をする上で、最も重要だと思っていること、日頃から心掛けていることは何ですか？

……お子さんの些細な反応を見逃さないことです。言葉での表現だけでなく、視線や仕草、表情等にアンテナを張っています。伝わってうれしい経験を積み重ねられるよう「ちょっと頑張ったらできる」さらに「難しいと感じない」課題に設定することを心掛けています。「楽しかったよ」「また来るね」と言ってもらえることが、私の糧となっています。

●今後、挑戦してみたいことはありますか？

……今は娘2人の育児真っ只中ですが、家族や友だち以外の人にも相談できる環境をとってもらいたいと感じています。地域の親御さんたちと気軽に話せる交流会のようなことができたらいいなと思っています。また、言語聴覚士という仕事について啓蒙していきたいです。